

提言第16号 頸部手術に起因した気道閉塞に係る死亡事例の分析
事例1
< 事例概要 > 50 歳代、喘息の既往がある頸椎性神経根症の患者。 ・ 頸椎前方固定術（C3-6）を施行。手術時間は約4 時間半。術中出血量は不明、手術終了後に抜管。 ・ 病棟帰室時、頸部の硬結あり、帰室約1 時間後に息の吐きづらさを訴えた。経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）99%。頸部周囲径に変化はないが、硬結範囲の拡大を認め、集中治療室へ搬送した。気管挿管を試みたが、困難で開創、気管切開術を施行中に心停止となり、約1 週間後死亡。 ・ 死因は、気道閉塞に伴う低酸素脳症。死亡時画像診断（Ai）無、解剖有。